



議会だより

平成19年
1月1日

No. 7



餅つき会（黒川小学校）

第3回 定例会

第3回定例会の概要（市政報告）

2～3 ページ

一般質問

9氏

市政を問う

（内容は本人の草稿によるものです。）

4～8 ページ

常任委員会 審査

8～9 ページ

17年度 決算審査（9月～3月）

10～11 ページ



**新年 おめでとうございます
市民の期待に応えるよう頑張ります。**

新市議会スタート

第3回定例会

10月25日～11月15日



迎 春

胎内市議会議長 松井 恒雄

あけましておめでとうございます。胎内市議会も昨年8月31日に自主解散を行い、10月1日に胎内市になって初めての市議会議員選挙が行われ、26名の新議員が誕生しました。胎内市も合併して1年4ヶ月経過しましたが、今後胎内市が発展していくためには行財政改革、農林水産事業、観光事業の見直し、少子高齢化問題、教育問題、市営施設のあり方、企業誘致など議会と執行部が目線をひとつにし、市民の声も拝聴しながら改革を進めていかなければと思っております。議会も一丸となって胎内市発展のため頑張りますので今年一年宜しくお願いいたします。

柴橋・本条統合小学校

平成22年4月開校に向け

条例を制定!!

条例の制定

柴橋・本条地区小学校統合審議会条例の制定。

平成22年4月の開校を目指している柴橋・本条地区小学校統合校舎の建設に際して、教育委員会の付属機関を設置することにより統合を推進するための基盤整備を行うとともに地域の意見を聞く。

一般会計補正予算

今までの予算に450万円を追加し、総額を149億6,460万円としました。主な内容は、定数減による議員報酬の減額、バイオマスタウン構想事業規模縮小に伴い減額、デイサービスを土曜・祝日も開始したことにより委託料を増額、プレミアム商品券に補助金、駅前広場整備事業関連経費、冬期間における中学校バス通学運行委託料、各小中学校耐震調査委託料などです。

特別会計補正予算

国民健康保険事業補正予算は、医療費の増加が見込まれ、1億5,336万8千円を追加し、総額を31億2,336万8千円とする。老人保健事業補正予算では、817万6千円を追加し、総額を29億3,900万6千円とする。介護保険事業補正予算では、9,030万9千円を追加し、総額を20億2,030万9千円とする。

監査委員の同意

議会解散に伴い新たに、小林兼由議員の選任に同意。

教育委員会委員の同意

任期満了に伴い、引き続き、長野彰夫氏（荒井浜）の任命に同意。

本定例会では、専決処分
の承認を求めるもの1件、
補正予算4件、条例の制定
1件、市道路線の変更・認
定3路線、同意案件2件、
議員発議の意見書6件の審
議が行われ全議案とも可決
されました。また、17年度
の決算審査も行われ、全て
認定されました。
主な議案は次のとおり。

市政報告

市長

1、櫛形山脈断層帯

今後30年以内にはM6・8の地震発生が確立が「0.3%〜5%」に絞り込むことができた。発表された。胎内市の防災計画の策定を急ぎ、自主防災組織化、万が一に備え、避難所等の総点検実施。防災無線の運用までには時間がかかり、市民に防災意識を常に持つていた、だけけるよう情報提供に心がける。



2、朝鮮民主主義人民共和国が実施した核実験に係る対応

大変遺憾なことである。今のところ異常な数値や人工の放射性物質は検出されていない。関係機関と連携を図りながら警戒にあたる。

3、水澤化学工業㈱の地下水汚染

調査結果、汚染原因は工場の事業活動に起因する。ダイオキシン類の周辺環境への影響は認められない。

4、櫛クラレの廃液地下注入処理事案

調査用井戸の掘削作業は大幅に遅れていて、11月末頃になる。下流域で継続している地下水の水質調査では異常な数値は計測されていない。今後の対応は調査用井戸及び注入井戸の調査状況をしながら検討していく。

5、ブロードバンド空白地域解消促進事業

NTTに補助金を支出し「大長谷地区」「鼓岡地区」にも12月15日から「ADSLサービス」の提供開始。

6、後期高齢者医療制度

老人を対象とした後期高齢者医療制度を新たに創設し、高齢者医療の安定給付を目指す。75歳以上の老人はすべて「後期高齢者医療保険」に移行する。

7、地域包括支援センターの運営状況

介護保険法の改正に伴い、本年4月から市内4か所に地域包括支援センターを設置致しました。現在介護保険サービスを必要としない人でも介護予防教室に参加し、理学療法士・栄養士・歯科衛生士等の指導が受けられる。自立支援のため施策を総合的に進めている。

8、企業誘致活動

景気回復基調が続いているので、企業の問い合わせ



9、第64回国民体育大会の開催

新潟国体は平成21年に開催されることが決定している。会期は9月26日から10月6日までの11日間で、胎内市では、ゴルフ競技少年男子が「中条ゴルフ倶楽部」で、ライフル競技が「県営ライフル射撃場」で、デモンストラーションとして「総合グラウンド」でグラウンドゴルフが行われる。

ライフル射撃場はスポーツハウス周辺に新潟県が建設する。

胎内市を全国に知らしめるための情報発信体制や市民が自らスポーツに親しむ気運を盛り上げるため「国体準備室」を立ち上げる。

「企業誘致促進特別委員会」の設置

企業誘致の促進と雇用の拡大に関する調査のため設置するものです。

- | | |
|---------|-------|
| 委員長 | 須貝 繁 |
| 副委員長 | 小田 英夫 |
| 委員 | 渡辺 宏行 |
| 菅原 市永 | |
| 水澤 寅一 | |
| 富樫 誠 | |
| 花野 矢次兵衛 | |
| 八幡 行雄 | |
| 薄田 智 | |

市政と財政再構築策は？



小野康男 議員

市長 財政健全化計画を策定し、取り組む！

質問 この課題は、いかに市外の活力導入が正道。市に50年歴史ある工場が、見附市移転のスローな取組、本腰と気迫がない。商工観光部局を本庁に据え直し、民活の取組分野、施策の反省と、責任ある答は。

工場誘致と観光等対策は

市長 確かに2番目。約10年かけ新発田市並目標。先人が、他に先がけ投資、財産整備の結果であり、財政事情見据え、負債返還、減少整理に取組みたい。

質問 市の債務一般会計で市民一人当り50万円、観光・水道等特別会計で約70万円の426億円の計、23・1%、10年で今の近郷市町村17%に達する取組対策の身を問う。

質問 市の財政は、県下悪い第2位。その立直し、中身と、関連新事業の方策は。
市長 19年度予算編成期の11月末迄に、柱の市計画共策定し、有効な手段模索して、皆様に公表取組む。



胎内ワイン

市長 私も初めてで、スロの面を反省している。新規誘致、ジェイシーエム取組み、観光で経営ノウハウ、指定管理者制度導入、可能性を検討してゆく考えである。

質問 第三セクターの民活ワイン販売の前身、特に中条客、観光ロイヤル誘引は、業界困ばい、止めるべきだ。
市長 ワインは6年後3万5千本生産、販売は市1万1千本、小売卸業1万8千本、その他6千本の見込みである。特産を活かし、民活検討する。内外に観光PRは進めたい。

質問 三役に関する自治法改正で来年、組織再編は。
市長 組織は人なり、総合システム再編構築に取組む。

議員定数の見直しは？



高橋政実 議員

市長 議会の検討を願う

質問 市民の大代表である市長の議員定数の所見は。
市長 定数削減は、市民感情・歳費削減に資するものだが、市政参画機会を狭めてしまうものもあり、議会側の検討を願う。

行財政問題

質問 10月1日市報の実質公債費比率適正化計画の背景の説明を願う。又計画と経過を比べ、前倒し見直しの考えは。

市長 実質公債費比率18%以上の地方公共団体は、18%以下に抑えるよう公債費負担適正化計画を作成しなければ、起債の借入れが出来なくなつた。当市は23・1%で厳しい状況で借り入れ許可を得るために、財政状況の是正計画策定は必須であります。

課長 10年目に18%以下になる計画で理解を得たい。

環境・福祉・教育

質問 北朝鮮核実験に関連し、この地域の放射線物質の監視体制と健康不安・農作物風評被害防止策は。

市長 胎内市独自の検出監視体制はないが、柏崎の通常監視に加え新発田環境センターほか、今のところ

異常報告はなく、人体や農作物に対する影響はないので、ホームページ・広報でも周知する。

質問 高齢者の施設入居順番の現状は。

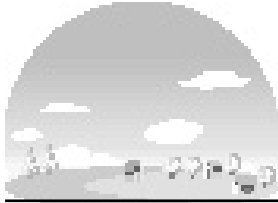
市長 市内5施設と他市町村も利用できるが、待機者は9月末で87名である。

質問 地域ボランティアの登下校協力体制には敬意を表するところであるが、日中の安全確保は。

教育長 市民が一体となつて「安全安心都市宣言」をしました。しかし児童生徒の安全を脅かす事件が増加しており、警察・行政・各学校を含め「子どもを見守りタイ」が結成された。自発的な防犯活動・防犯パトロール等を促進したい。



さわやかパトロール



次世代に「中条」の名を残す検討を！



佐藤 武志 議員

市長 地区の要望があれば検討する

質問 合併して胎内市になり「中条」の地名はなくなつた。しかし合併しても旧中条以外の地区名は昔のまま残っている。中条の名は文化も歴史も多く残っている。次世代に中条の名を残すために検討をお願いしたいが。

市長 地区の要望が総意であるか確認し、区長会で意見を頂き住民意向調査等の要否を検討したい。

質問 ワイン工場・小学校2校統合について

市長 ワイン工場と柴橋・本条小学校2校統合建設は予定通り進めていくのか。

市長 ワイナリーの事業は中山間地域活性化対策で、特産品に付加価値を与え農業の振興と観光事業の活性化を期待する新市の施策である。来年9月に完成させたい。また、2校統合建設は、快適な教育環境を提供するものであり、地域のシンボルであると考えている。現在の状況を勘案し地域の意見を総合的に考え合せると、2校統合が最も良いと

考える。平成22年4月に開校できるように鋭意努力している。

財政破綻の記事について

質問 財政破綻について職員に対し危機感を持つてもうらうために、あえて厳しい表現にしたと新聞で報じられているが、十分に財政計画を立て、市民には負担・不安は掛けないと説明して合併をし、1年後にこのような財政破綻という記事が出た事を市民にどう説明するのか。1年後に財政見直しをすることになり、広報に載っている10年間のグラフだけで市民は信頼して行政を任せて行けるのか伺いたい。

市長 職員を対象に行った研修の内容であり、公債費負担適正化計画に沿って確実に減少させたい。住民サービスを維持し内部経費の削減はもちろんのこと、執行事業の取捨選択や受益者負担の適正化も含め見直しを行いたい。

地域の実情に合わせた 公平で弾力的な冬期間の通学バスの運行を！



森田 幸衛 議員

教育長 市内の全小中学校で実施する

質問 平成17年度、築地中学校ではPTAが主体となつて希望を募り、月7,000円の全額保護者負担で1月と2月、下校時のみの通学バスを運行している。一方、黒川中学校では12月から3月まで、登下校の運行で、保護者負担は月2,000円で残りは市が負担していた。同じ胎内市の中学生なのに、歴然とした格差があるのはいかがなものか。財政状況が厳しい中、一定の受益者負担をいただきながら、胎内市のすべての中学生に対して公平に、その地域の実情に合わせた弾力的な冬期間の通学バスの運行が、行政としての責務だと考えるが。

教育長 本年12月から3月まで、市内全小中学校の通学距離がおおむね2キロ以上の希望者を対象に、今のところ受益者負担をいただかずに運行する予定である。

スポーツバスについて

質問 運転手付きのバスを

無償で運行しているスポーツバスの性格上、土日に申し込みが集中する中、約30団体に2台のバスを公平に回すのは至難の業で、実際は「借りた者勝ち」という現在のやり方を改め、一定の受益者負担をいただきながら、公平性のある運行が望ましいと考えるが。

教育長 経費負担が平等にかつ多くの方々が利用できるように各団体と協議しながら検討していきたい。

市営施設の維持管理について

質問 胎内市がその施設を維持する為にどれくらいのコストが掛っているのか、またどれ位の収益があるのか、すべての市営施設の収支決算をわかりやすい一覧表にして、市民に公開すべきだと思ふが。

市長 わかりやすい指標の設定・方法など検討して、市営施設の維持管理に係わる収支状況を示したい。



合併特例債の活用率は

市長 発行可能額の97%を予定



渡辺 俊 議員

質問 地方交付税の今後の見込みは。

市長 約2%から3%程度額にして1億円程度が毎年減少する。

質問 地方債残高の今後の推移は。

市長 元利償還分を差し引

質問 2 巡目新潟国体の予

新潟国体

いた実質的な残高は、年々少しずつだが減少する。

質問 基金残高はどうか。

市長 合併時が26億8千万円、18年度末で27億7千万円の見込み。今後もこれを堅持していく。

質問 新型交付税の当市への影響は。

市長 有利に働くものではない。

質問 「市の財政運営について」を出した経緯は。

市長 新潟日報の記事で「財政破綻」という言葉が独り歩きした感があり、市民が財政再建団体への不安を感じていると判断し、広報誌に現状を掲載した。

質問 建設事業の見直しと合併特例債の活用率は。

市長 あらゆる角度から検討し、より経済的で効果的な手段を模索していく。特例債は発行可能額の97%、額にして90億円を見込んで

いる。

定は。

市長 少年男子ゴルフ競技が中条ゴルフ倶楽部で平成21年9月25日から3日間、ライフル射撃競技がスポーツハウス敷地内に建設予定の県のライフル射撃場で、9月27日から4日間開催される予定。

質問 開催経費と運営経費は。

市長 競技用具などは他県から借りて節約する。運営経費は基本的に県が負担することになっている。

質問 選手・役員数及び宿泊予定人数は。

市長 選手と役員が約600名、その他応援等で600名程度を予定。

質問 市内の強化指定選手は。

市長 陸上とラグビーで中学生の男女1名ずつ。

質問 商工振興係と観光企画・施設係の分課独立は。

市長 組織機構再編プロジェクトの最終報告をもとに判断する。

その他の質問

- ・下館市内の歩道について
- ・旧村体育館と旧村民ホールについて

高齢者の外出支援を！

市長 乗り合いタクシーなど検討



新治ひで子 議員

質問 バス利用者のほとんどは高齢者。買い物など重荷を持ってバス停まで歩くのは大変。高齢者の希望する場所での乗り降りできるような便宜を図れないか。

市長 安全性の面から難しい状況だが、バス事業者に利用者の利便性向上への取り組みを働きかけたい。

質問 足腰の弱い高齢者には雪道や凍結路を歩くのは危険。冬期間の外出支援策として、バス運行に替えてタクシー料金を一部負担するなど、より利用者のニーズに合わせた外出支援策を講じられないか。

市長 乗り合いタクシーなど検討したい。

質問 利用者が少なく市の負担額が大きい市内を走るバスの運行形態などの改善に早急に取組むべきでは。

市長 今後の移動手段確保については、あらゆる方法と費用対効果を検討する。

質問 子供の心を育むための読書運動の推進を！

質問 「ブック・スタート」事業で乳幼児検診時に絵本をプレゼントしているが、主旨が十分理解されていない面がある。保育士や図書館司書、ボランティアなどによる絵本読み聞かせの実演、読書や読み聞かせの大切さについての説明、図書館にある絵本の紹介とその利用について、積極的なPRなどを実施し、もっと充実させるべきでは。

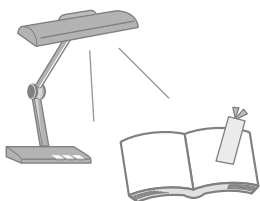
市長 司書や保健師、保育士と連携を図りながら事業の拡大に努めたい。

質問 男性の子育て参加を促す「お父さん・おじいちゃん」の読み聞かせ講座開催や読み聞かせボランティアの育成の考えは。読み聞かせを通じて世代間交流ができ、読み聞かせから本好きなき子どもへ繋げられる。

教育長 既存の連携を深め、読書活動の推進を図るとともに、ボランティア団体のさらなる育成に努めたい。

質問 小中学校での「朝の10分間読書運動」の取り組み状況は。

教育長 市内すべての学校で、毎日か週に数回実施している。一層読書活動を推進していきたい。



行財政改革 について



赤塚タイ 議員

市長 健全な施設運営に努める

質問 実質公債費比率県内ワースト2の23・1%、財政破綻の足音が聞こえてきます。胎内市は滞在型観光施設や下水道など公営企業の負債が膨らんだのが原因と思う。ロイヤルパークホテルで一番宿泊客が多い8月、18年は13年に比べ61%、

17年は0・8%減と年々減り続けている。今一番求められていることはホテルマンの姿勢である。その対応は。
市長 接客対応に至らない部分があるのではないかと感じている。今月と来月研修を予定。親切なもてなし、歓待、厚遇を目指し接客マナーの改善を行う。
 市の責任のもとで健全な施設運営に努める。
質問 新潟フルーツパークの現在の責任者は。
市長 私を始め職員は就任していない。
質問 この会社の17年度決算では約5、155万円欠損処理となっている。市は関係ないのか。
課長 経営関係等全部株式会社がおこなっており市は何も申ししていない。

膨らんだ 下水道会計

質問 業者への発注工事だけ先行しても接続が遅れては赤字が膨らむばかり。接続100%に向けての年度別目標数値は。



中条浄化センター

中条駅西口 開発について

課長 今現在接続できる戸数約6千数百戸、このうち約4千数百戸接続。約2千戸が未接続、来年からは接続促進の年として1千戸を目標としたい。
質問 中条駅前開発総事業費約20億1千万円その内国県の支出金約13億7千万円、市約6億4千万円となっている。西口は全部市の負担と聞く、約50億円とも試算される。中条駅西口開発の具体的取り組みは。
市長 渋滞解消として検討の余地がある。財政が厳しい。できたら用地を確保して道路だけでもきちんとしてい。

どう進める 財政健全化



富樫 誠 議員

市長 予算編成時期を目途に

質問 旧中条・黒川の職員給与適正化を進める中で人件費の削減は可能なのか。
市長 給与格差は18年度から3年間を目途に段階的に解消していく。まずは19年1月に調整を実施する。胎内市の職員数は類似団体と

比較して16名程多くなっており、退職者の補充に際しては新規採用を計画的に行うことで職員給与総額の抑制を図っていききたい。
質問 柴橋・本条の学校統合は変更なく出来るのか。
市長 地区や地域全体を総合的に配慮して、予定どおり22年4月の開校を目標に準備を進める。財政事情が大変厳しい中ではあるが、有利な財源を利用しながら建設する計画である。
「もったいない」運動の推進を
質問 環境問題を考え、財政再建に取り組む胎内市として市民こそぞつての運動として展開すべきでは。
市長 「もったいない」の精神は、ごみ減量などの環境問題、行財政改革、食育や教育等にどどまることなく地球的規模においても共感できる概念であり、私たち一人ひとりが身近なところで実践できる精神である。厳しい行財政運営の中でも希望を持ち、元気の出る事

すぐやる課の 設置を

業に意を注いで、この精神を肝に銘じ胎内市の将来を創造していきたい。
質問 市民サービスの市役所に設置を考へては。
市長 係を廃止してチームによる組織形態を採用する自治体の例があり、行政ニーズの柔軟な対応、意思決定手続きの簡素化、課内の繁閑の是正及び職員数の抑制に期待できる。胎内市で採用している係制は、担当する事務や指揮命令系統が規則などで固定された縦型の組織となり、業務が固定化される結果、前例踏襲など硬直した組織になりやすい。職員一人ひとりの意識改革を図ることで解消可能ではあるが、現在「組織機構のあるべき姿」について議論している。



住民税増収分は



丸山孝博 議員

市長 還元すべきと考えている

質問 所得税・住民税の老年者控除が廃止され、公的年金など控除が縮小されたうえに、定率減税の半減などが重なり合うようになつたが、特に高齢者に負担が押し付けられたが、それによる当市の増収見通しは、適用されたが、老年者控除

の廃止により約1、100万円、定率減税の半減で約5、200万円である。

質問 来年定率減税が全廃されるが、それに伴う影響額は今年と同じ5、200万円でしょうか。

課長 相当な額になると思われる。

質問 せめて今回の住民税増収分は、高齢者福祉のために回すべきではないか。

市長 基本的には高齢者の方々からの納税による増収分であるので、還元すべきと考えている。

耳鼻咽喉科の誘致を

質問 地元で受診できない人にとって切実な問題になっているが、見直しはどうか。

市長 機会あるごとに医師会や大病院等に申し入れるなど誘致運動をしている。今後も粘り強く働きかけを継続していく。

地下水汚染問題のその後は

質問 発生から一年になる

が、これまでの対応と今後の取り組み、水質化学中条工場に関する水質検査、水道敷設工事などの費用は、

市長 住民健康調査は40人を対象におこなったが、影響は認められない。水質検査は、すべて環境基準以下であった。水質化学の地下水汚染にかかった経費は総額5、600万円余りで会社からいただいた。

教基法についての見解は

質問 教育学の専門家や弁護士会から反対、慎重の意見があるがどうか。

来年度実施される全国学力テストについてはどうか。

教育長 よりよい法のあり方を求め、その議論を深める必要がある。学力テストは対象となる小6と中3の全児童に対して実施する。



常任委員会審査

総務文教常任委員会

●柴橋・本条地区小学校統合審議会条例

『2校統合し平成22年4月開校を目指す。』

柴橋・本条地区における小学校の統合の推進と基盤整備を行うため統合審議会を設置し、教育委員会の諮問に基づき調査及び審議して答申するものです。

審議会委員は同地区の区長、PTA、保育園保護者会、幼稚園保護者会の代表の中から教育委員会が委嘱した方々40名以内で構成されます。

主な質疑

質問 審議会委員の40名以内は結構であるが、同地区の偏った代表ではなく、大型投資案件のため、市内全体の中から選出して頂きたい。

答弁 意見を踏まえ、委員の選出については配慮したい。

質問 委員の人数について、その他教育委員会が特に必要と認める者とは、具体的にどのような人物か。

答弁 具体的には決めていないが、子供たちが快適に勉強できる学校をつくるための審議会なので、それに相応しい選任を行いたい。

質問 現在の財政状況を考えれば、2校ではなく中条小学校を含めた3校統合の方が良いと思うが、本条例が可決されれば2校統合で決定されるのか。

答弁 2校統合は昭和54年より住民と行政での話し合いの基で行われ、用地取得をすでに終わっており、この2校統合を確定している。

質問 本条学区は具体的にどこどこを指すのか。

答弁 本郷町、西条1、西条2、クラレ、赤川、あかね町である。

質問 学区内でも昔からの経緯、引越し等で学区外の

学校に通学している児童もいる。また、新校舎が出来れば地理的な問題も発生するため、柔軟な対応をお願いしたい。

答弁 地域住民の意見を十分踏まえ、検討し、開校までに対応していきたい。

質問 3校統合の意見も多々あると思われるが、それらの方々にに対する対応については。

答弁 色々な意見があることは承知しているが、現在2校統合で確定しており、この方向で進めたい。

質問 現在、市の財政が非常に厳しいが建設財源をどうするのか。

答弁 総事業費が約25億円で、財源の内訳が補助金4億5千万円、合併特例債17億7、500万円(要30%返済)、地域づくり債9、300万円、一般財源1億5千万円であり、市の将来財政計画を踏まえて計画している。

質問 今後の中核工業団地の企業進出を見据えて児童増の計画をしているのか。



柴橋小学校



本条小学校

答弁 その部分も将来を見込んで計画していきたい。

質問 胎内市全体の小・中学校の耐震審査がされていない状況であり、子供たちに安全で安心して教育させてやりたい。早期に耐震審査を希望する。

答弁 耐震審査については新潟県全体で遅れている。予算措置も伴うため、優先順位を決め検討していく。

以上、原案のとおり可決すべきと決定した。

厚生環境常任委員会

● 国民健康保険事業補正予算

● 老人保健事業補正予算

● 介護保険事業補正予算

以上補正予算3件について11月1日審査した。

質問 新規事業の保健財政共同安定化事業とは。

答弁 高額医療費一ヶ月一件80万円を超える公布から、この10月より30から80万円について公布される事業です。

質問 配食サービスの定義づけは。

以上、原案のとおり可決すべきと決定した。

答弁 一人暮らしや援助に必要な高齢者に対し行われる。4月から9月まで延べ143名3、666食のサービスを実施した。

質問 特定高齢者及び一般高齢者とは。

答弁 介護認定されていないが審査の対象となる方が、特定高齢者。65歳以上の方を一般高齢者と区別している。

以上、原案のとおり可決すべきと決定した。

産業建設常任委員会

● 市道路線の認定・変更について

小荒川2号線の認定

水沢町・長橋線の変更

これは国道7号線4車線化に伴い交通量が増加したため認定・変更するものである。

乙・荒屋線の変更

これは大日川河川改修に伴う荒屋橋架け替えと道路改良により変更するものである。

3路線とも現地調査の結果、市道として認定基準を満たすものであり、全員異議なく原案のとおり可決すべきと決定した。

国・県への意見書

○ 北朝鮮の核実験に断固抗議し厳格な制裁措置を求める意見書

○ 公立高校と私立高校の学費と教育条件の格差解消を目指し私立高校の公費(私学助成)の増額を求める意見書 (国と県へ提出)

○ 集配局の廃止再編計画に反対する意見書

○ トンネルじん肺根絶の抜本的な対策を求める意見書

○ 道路特定財源に関する意見書

初当選議員研修を実施!

11月24日から30日までのうち4日間にわたり、7名の新人議員が各課(局・支所)の職務内容及び各施設の視察を行いました。

《日程》

24日 総務課、企画財政課、学校教育課、生涯学習課、税務課

27日 市民生活課、健康開発課、福祉課、農林水産課、農業委員会

29日 地域整備課、商工観光課、上下水道課、会計課、支所

30日 現地視察(下水処理場、長池直売所、浄水場、調整池、乙物産館、フルーツパーク、ロイヤル胎内パークホテル、胎内高原ミネラルハウス)

○アパート住居人の把握は
 ○上・下水道の運営 今後の見通しは
 ○自動車運送事業継続していけるのか



平成17年度

決算審査行われる

11月7日9日10日

一般会計

主な質疑

17年9月から18年3月までの7か月間の決算である。

歳入予算が計上どおり確保されていたか。そのための努力が十分になされたか。

歳出予算が議決した主旨・目的に従って適正に執行されていたか。また、行政効果がどの程度達成されているかを主眼において審査を行った。

歳出の総額は92億6、264万円、実質収支は4億2、390万円の黒字。*経常収支比率は95%で厳しい財政状態である。

※経常収支比率とは、

地方自治体の財政の弾力性を示す指標として利用され、市町村では75%程度が望ましくされている。

【質問】 庁舎耐震診断の結果について

【答弁】 問題ない。

【質問】 市内各所でアパートが建設されている。住居人を区長・行政は常に把握する必要があるが。

【答弁】 プライバシーの問題

がある。文書配布は管理人に依頼、各種寄付金等は依頼していない。

【質問】 大字変更作業委託料これに関する戸数は。

【答弁】 40戸、88万5千円。

【質問】 障害者自立支援法の改正により、個人負担が発生したが、利用者・保護者の苦情等があるか。

【答弁】 苦しい実情が多く寄せられている。

【質問】 就労支援により生活保護が廃止された所帯は。

【答弁】 2所帯。

【質問】 「おくやみ」「うぶごえ」胎内市だけが新聞紙上

に掲載されていないが。

【答弁】 正確な確認作業が難しい、他市町村でも止めたいというのが実情である。

【質問】 堆肥センターの収支400万円の赤字、解消するには。

【答弁】 1フレコン1、900円を3、800円に値上げすれば。

【質問】 (株)新潟フルーツパークの代表者は。胎内市が株式の97%保有、経営悪化した場合、市の対応は。

【答弁】 代表は布川陽一氏で、借入金とオーナー制で運営し、24年に最高の収穫見込まれる。経営安定化の方向に進む。

【質問】 市営のフルーツパークを(株)新潟フルーツパークに譲渡する気は。

【答弁】 補助事業で導入、譲渡できない。

【質問】 コーポカーボンデールの入居者数と、いつ頃土地所有者に返すのか。

【答弁】 18年度で契約終了。48室のうち34室に入居。

【質問】 開放型防火水槽は、何ヶ所あるのか。また、改修するには何年かかるか。

【答弁】 25ヶ所で、6ヶ所は早急に改修する。

【質問】 いじめ対策委員会の実態は。

【答弁】 17年度いじめ問題はない、委員会開催は少ない。現在3件の報告があるが解決している。



コーポ・カーボンデール

特別会計

国民健康保険事業

歳入総額20億4、568万5千円

主な質疑

質問 出産育児一時金は9月から3月末までに出生した子供が57人ですか。

答弁 3子又は4子が生まれたということですが。

質問 国民健康保険税の口座振替は何%か。又、高額療養費の三大病名は。

答弁 口座振替利用者は、74・7%です。高額療養費で多いのは、狭心症・拒食症・急性リンパ性白血病となっております。

質問 国民健康保険税が軽減されている世帯数は。

答弁 医療分2、600世帯、介護分1、052世帯です。

介護保険事業

地域包括支援センターの設置（4月）

主な質疑

質問 病気怪我等で入院したのち介護が必要になり、介護認定申請をして、認定までの期間は。また、調査員は何人か。

答弁 調査は1週間以内に、認定は30日以内に行い、調査員は4名です。

農業集落排水事業

主な質疑

質問 乙地区が4月から供用開始されたが、接続率が低いのでは。今後の普及策は。

答弁 この施設は供用数が880軒、現在の接続数83軒で遅い方ではないと思います。需用者と業者又は個々の財政計画の関係で若干遅れているのかとも思う。

質問 道路掘り返し部分の本復旧舗装の基準は。

答弁 基本的には掘削幅から左右30センチの影響幅を本舗装する。

観光事業

主な質疑

質問 ホテルの宿泊利用客で一番多い月は。

答弁 1月で1、326人です。

質問 ホテル賄い材料仕入先は。

答弁 全31業者中、うち市内業者は9業者です。金額で9万314円。率で約2%位です。

質問 イベント委託の内容、業者は。

答弁 五木ひろしショーは新潟企画、新沼謙二ショーはBSNです。

宅地造成事業

主な質疑

質問 南工業団地の売却先は。共同墓地使用状況と残っている区画は。

答弁 新潟メタルフラックと小国製麺に売却している。

川合霊園と塩沢霊園の2カ所で、塩沢霊園のみ32区画残っている。

地域産業振興事業

主な質疑

質問 農畜産物原材料の仕入れ先と、仕入れ価格は。また、酒税は。

答弁 畜産物原材料は市の畜産団地からで、市場価格を基本としている。酒税は1キロリットル17万7、600円です。

企業会計

公共下水道事業

純損失は1億1、547万円

主な質疑

質問 工事完了した場合収支のバランスはとれるのか。

答弁 現料金では無理である。

水道事業

本年度の純損失は6、489万円

主な質疑

質問 27年度に黒字転換すると言うが。

答弁 19年度に10%程度の料金を値上げできれば。現実

胎内の乳製品



在給水単価217円、供給単価191円である。

自動車運送事業

本年度は純損失823万円

主な質疑

質問 赤字の今後の見通しは。

答弁 現状では回復は見込めないで検討する。

第3回定例会

傍聴記

今村克治さん

胎内市発足後の選挙で新議員が選出されました。その議事を傍聴した感想を述べます。

(1) 議員の仕事は大所高所から市政をチェックし、胎内市を着実に発展させることにあります。また、新市が抱え込むことになった課題について勉強すると共に議会としてそこへ知恵を結集して欲しいと思います。(2) 行政は住民のニーズがますます多様化している現在、厳しい財政状況での運営となります。その際大切なことは基本理念を明確に打ち出すこと。これが利害を超えた理解を得るための第一歩です。

また組織や政策には絶えず見直しが必要。そこには短期と長期の複眼的判断が同時に求められます。問題によっては外部有識者への諮問も考えるべきです。組織内からの発想や改革はとかく限定的で曖昧となり易いものです。

(3) 北海道夕張市の例は、市(行政側)も議会(員)も何とかなるだろう、何とかしてくれるだろうという意識があったらしい。崖から落とされた市民の負担は恐ろしいばかりです。住民も自ら選んだ首長や議員に責任を持たねばならない。これからの投票では候補者の政策や議会における発言内容、行動のチェックが大事だと痛感します。(4) 最後に、この合併による胎内市誕生が後世に最良の選択だったと評価されるよう行政側と議会の努力を期待しています。

議会の動き

10月

- 4日 初当選議員協議会
6日 第5回臨時議会
16日 議会報編集特別委員会
18日 議会運営委員会
25日 第3回定例会(初日)
26日 第3回定例会(2日目)
31日 総務文教常任委員会

11月

- 1日 厚生環境常任委員会
2日 産業建設常任委員会
7日 決算審査特別委員会
9日 決算審査特別委員会
10日 決算審査特別委員会
15日 全員協議会(最終日)
20日 第3回定例会(最終日)
議会報編集特別委員会
厚生環境常任委員会

12月

- 1日 全員協議会
5日 企業誘致促進特別委員会
第4回定例会(初日)
6日 第4回定例会(2日目)
7日 第4回定例会(3日目)
13日 総務文教常任委員会
14日 厚生環境常任委員会
15日 産業建設常任委員会
19日 第4回定例会(最終日)
議会報編集特別委員会



議会を傍聴しませんか!

本会議は、日常生活に関連のある問題が審議される重要な会議です。お気軽にお越しください。

次回定例会

『次の本会議は3月です。』詳しい日程が決まり次第、市報「たいない」や市ホームページでお知らせします。

インターネット議会中継

いつでも自宅でも傍聴！平成18年3月第1回定例会からインターネットにより、本会議の市長の施政方針や一般質問のビデオ映像を配信しています。

昨年10月の議員改選後、議会映像については、本会議のほぼ全場を配信しています。

インターネットで胎内市ホームページを開き、市議会のページをクリック又は、更新情報でビデオ映像のページを開くことができます。仕事の関係で議会の傍聴できない方はぜひご覧ください。

編集後記

新年明けましておめでとうございます。

議会改選後初めての新たな議員定数26名での第3回定例会が緊張感漂う中で開催されました。

一般会計補正予算の承認から、合併時の9月から年度末3月までの7ヶ月間という変則的な17年度決算が認定されました。

今議会では9人の一般質問が行われ、行財政、環境、教育と全般に渡り活発な議会活動が行われ、今市民から議会に對し期待され、また問われているのは、なにかを議員各々が十分認識し市民の皆様の負託に添える様、研鑽に努めるのが責務であると痛感致しております。

なお今期も議会報編集特別委員会をおおせつかりました。皆様に愛される「議会だより」の編集に努めてまいります。宜しくお願います。

(桐生)

